



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年11月14日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 5277 URL <http://www.spancretecorp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浮田 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井上 卓郎 TEL 03-5689-6311
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,098	18.2	59	△69.7	70	△66.2	61	△58.2
2018年3月期第2四半期	1,775	74.1	197	—	209	—	146	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	7.93	—
2018年3月期第2四半期	18.97	18.95

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	8,195	6,493	79.2
2018年3月期	8,107	6,500	80.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 6,493百万円 2018年3月期 6,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,218	24.3	161	△32.8	177	△32.0	149	△27.8	19.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	9,332,400株	2018年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,611,919株	2018年3月期	1,611,918株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	7,720,482株	2018年3月期2Q	7,714,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境及び企業収益の改善等が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しており、海外における米国や中国及び欧州各国の政治情勢の変動や金融政策動向等から先行き不透明感が依然としてあるものの、全体としては緩やかな成長を維持しています。この間、建設業界におきましては、市場環境は東京オリンピック関連工事が本格化するものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格が高騰し、建設技能労働者不足による労務単価の上昇する経営環境が続いております。このような状況下で当社の当第2四半期累計期間の業績は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したことと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇から採算が悪化し、更に賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上した為、売上高2,098百万円(前年同四半期比18.2%増)、営業利益59百万円(前年同四半期比69.7%減)、経常利益70百万円(前年同四半期比66.2%減)、四半期純利益61百万円(前年同四半期比58.2%減)の増収減益となりました。

事業別にみると、主力のスパンクリート事業は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したことと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇から採算が悪化し、売上数量が前年同四半期比44.8%増加し、売上高は1,942百万円(前年同四半期比20.0%増)、営業利益20百万円(前年同四半期比82.1%減)の増収減益となりました。

他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっておりますが、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用38百万円を計上した為、売上高155百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益38百万円(前年同四半期比51.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ88百万円増加して8,195百万円となりました。流動資産は13百万円増加しておりますが、これは主として、現金及び預金が449百万円減少、売上債権が485百万円増加、たな卸資産が20百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は75百万円増加しておりますが、これは主として、機械及び装置が35百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は148百万円増加しておりますが、これは主として、買掛金が44百万円増加、工事未払金が55百万円増加、その他の内の未払金が28百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は52百万円減少しておりますが、これは主として、長期借入金金が59百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては7百万円減少しておりますが、これは主として、期末配当による61百万円減少、四半期純利益61百万円増加したこと等によるものであり、当第2四半期会計期間末の残高は6,493百万円となり、この結果、自己資本比率は79.2%(前事業年度末80.2%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末比449百万円減少(前年同四半期は258百万円の減少)して1,099百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は212百万円(前年同四半期は131百万円の減少)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益70百万円、減価償却費54百万円、仕入債務の増加額99百万円、たな卸資産の減少額20百万円等の増加があったものの、売上債権の増加額485百万円、法人税等の支払額29百万円等の減少が上回ったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は125百万円(前年同四半期は83百万円の減少)となりました。

これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出138百万円等によるものであります。

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 平成30年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は111百万円(前年同四半期は43百万円の減少)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出50百万円等と配当金の支払額59百万円の支出によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2018年5月15日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,108	814,909
受取手形	※ 14,547	4,388
売掛金	1,114,481	1,607,045
完成工事未収入金	55,654	58,527
有価証券	285,000	285,000
商品及び製品	120,598	89,176
仕掛品	3,132	6,699
未成工事支出金	1,801	—
原材料及び貯蔵品	46,678	55,950
その他	41,798	39,647
流動資産合計	2,947,803	2,961,345
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,094,353	1,091,499
機械及び装置(純額)	81,020	116,420
土地	3,052,641	3,052,641
その他(純額)	30,284	88,150
有形固定資産合計	4,258,299	4,348,711
無形固定資産	91,450	83,981
投資その他の資産		
投資有価証券	773,011	762,924
その他	36,508	38,958
投資その他の資産合計	809,520	801,883
固定資産合計	5,159,270	5,234,576
資産合計	8,107,073	8,195,921
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,716	102,073
工事未払金	49,061	104,356
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	101,700	110,150
未払法人税等	49,157	28,737
賞与引当金	30,500	39,600
その他	211,566	263,540
流動負債合計	999,701	1,148,457
固定負債		
長期借入金	59,300	—
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
その他	342,519	349,435
固定負債合計	606,602	554,218
負債合計	1,606,303	1,702,675

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 平成30年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	2,999,252	2,999,252
利益剰余金	260,237	259,703
自己株式	△370,594	△370,594
株主資本合計	6,184,801	6,184,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	308,301	301,312
土地再評価差額金	7,667	7,667
評価・換算差額等合計	315,968	308,979
純資産合計	6,500,769	6,493,246
負債純資産合計	8,107,073	8,195,921

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 平成30年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	1,775,431	2,098,369
売上原価	1,309,220	1,671,709
売上総利益	466,210	426,660
販売費及び一般管理費	※ 268,443	※ 366,799
営業利益	197,767	59,861
営業外収益		
受取利息	4,912	5,208
受取配当金	4,300	5,194
仕入割引	1,679	1,910
その他	3,721	2,943
営業外収益合計	14,612	15,257
営業外費用		
支払利息	1,984	1,806
休止固定資産諸経費	867	2,261
その他	3	193
営業外費用合計	2,856	4,261
経常利益	209,523	70,857
特別利益		
固定資産売却益	690	—
特別利益合計	690	—
特別損失		
投資有価証券評価損	35,726	—
減損損失	7,412	—
特別損失合計	43,138	—
税引前四半期純利益	167,074	70,857
法人税等	20,758	9,627
四半期純利益	146,315	61,230

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 平成30年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	167,074	70,857
減価償却費	29,198	54,786
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,820	9,100
受取利息及び受取配当金	△4,315	△5,231
有価証券利息	△4,896	△5,171
支払利息	1,984	1,806
投資有価証券評価損益(△は益)	35,726	—
固定資産売却損益(△は益)	△690	—
減損損失	7,412	—
売上債権の増減額(△は増加)	△310,928	△485,277
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,500	20,384
未成工事受入金の増減額(△は減少)	6,510	6,318
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,043	99,652
その他	△33,238	41,033
小計	△124,885	△191,741
利息及び配当金の受取額	9,209	10,402
利息の支払額	△1,892	△1,792
法人税等の支払額	△10,388	△29,146
役員退職慰労金の支払額	△3,112	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,068	△212,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	28	12
有形固定資産の取得による支出	△54,314	△135,219
有形固定資産の売却による収入	690	—
無形固定資産の取得による支出	△35,714	△3,130
貸付けによる支出	—	△2,800
貸付金の回収による収入	450	3,234
保険積立金の解約による収入	5,020	—
長期預り敷金の返還による支出	△36	△4,041
長期預り敷金の受入による収入	178	17,973
その他	—	△1,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,697	△125,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△42,375	△50,850
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△510	△59,827
リース債務の返済による支出	△778	△778
その他	12	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,651	△111,456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△258,417	△449,199
現金及び現金同等物の期首残高	1,659,852	1,549,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,401,435	1,099,909

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理につきましては、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお前事業年度の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
受取手形	15,822千円	一千円

(四半期損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
販売手数料	19,743千円	26,120千円
役員報酬	22,469	26,341
給料諸手当	86,602	99,222
賞与引当金繰入額	7,000	9,900
保守修繕費	4,289	46,167
研究開発費	8,217	24,561

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,619,589	155,841	1,775,431	—	1,775,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,619,589	155,841	1,775,431	—	1,775,431
セグメント利益	116,843	80,924	197,767	—	197,767

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株)スパンクリートコーポレーション(5277) 平成30年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

II 当第2四半期累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,942,875	155,494	2,098,369	—	2,098,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,942,875	155,494	2,098,369	—	2,098,369
セグメント利益	20,890	38,970	59,861	—	59,861

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。